

5 セキュリティ

セキュリティ確保の基本的な考え方

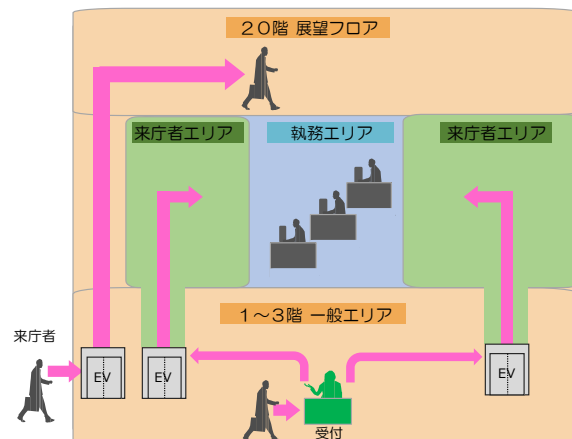
- ・誰もが親しみやすい庁舎として整備する一方、個人情報保護や防犯等の観点でのセキュリティを確保
- ・庁舎全体を、一般エリアと来庁者エリア及び執務エリアに区分するゾーニングを導入

エリア区分（ゾーニング）

- ・一般エリア
低層階（1～3階）及び20階を、県民に開かれ、にぎわいを創出する空間として配置
- ・来庁者エリア
来庁者と職員との面談等を実施するエリア（来庁者は入館手続きが必要）
- ・執務エリア
職員が執務するエリア（来庁者の入室は制限）

来庁者対応の充実

- ・低層階の一般エリアには食堂、売店、銀行、郵便局などの利便施設を配置
- ・20階の展望ロビーへ自由に上がることができるよう、専用エレベーター（2基）を設置
- ・職員と面談する来庁者のプライバシー等に配慮し、来庁者エリアに面談室等を十分に確保して、そこへ職員が出向く形で面談を実施



フロアのゾーニングのイメージ

6 ユニバーサルデザイン

動線計画

- ・歩行者と車両の動線をできる限り分離するなど、安全でスムーズな移動ができる動線計画
- ・建物内、外ともにシンプルで分かりやすい動線とし、1階受付はメインエントランスから見やすい場所に設置

車寄せ・駐車場

- ・メインエントランス付近に、車寄せや車椅子用駐車場等のほか、バス・タクシー乗降場を配置するとともに、雨天時の乗り降りや移動がしやすいように、庇を設置

来庁者向け窓口

- ・メインエントランスを1階に置くとともに、来庁者の多い総合窓口や利便施設を低層階に配置
- ・受付には、車椅子使用者に配慮したローカウンターを設置

通路・エレベーター

- ・通路は段差のない構造とし、車椅子やベビーカーの使用者に配慮した幅員を確保
- ・エレベーターには、音声案内や車椅子使用者用操作盤などを設置



車寄せ・駐車場と庇のイメージ

案内サイン・誘導サイン

- ・文字の大きさや配色、コントラストに配慮し、来庁者が見やすく分かりやすい案内サインを設置
- ・誘導サインはイラストなどを効果的に用いるとともに、外国語による表記も併記
- ・玄関等には音声誘導設備を設置

ユニバーサルトイレ

- ・車椅子使用者、子ども連れの方等が使用しやすい機能を備えたユニバーサルトイレを各階に設置

おむつ替えシート

- ・一般エリアの多目的トイレや授乳室内におむつ替えシートを設置

授乳室

- ・乳幼児連れの方が気軽に訪れることができるよう、調乳器を備えた授乳室を設置

議場

- ・傍聴席に車椅子使用者用のスペースを設置
- ・手話通訳を傍聴席モニターで表示
- ・子ども連れでの傍聴にも対応できるように、親子傍聴室を設置
- ・議場内一列目及び演台付近は段差をなくすとともに、主な通路にスロープを設置して車椅子動線を確保



多目的トイレのイメージ